広報
PUBLIC RELATIONS MAGAZINES
RYUOH

りゅうおう

“ひと”育ち みんなで煌く 交竜の郷
平成24年
2012 1
No.456

謹賀新年

contents もくじ

● 2012年 年頭のごあいさつ …… 2
新春特集 わがまち「竜王」を輝かせる人々 …… 4
● 次世代へのギフト⑳ …… 10
● 「決算」～まちの家計簿～ …… 12
● まちのホッとニュース …… 16
● じんけんを考えるみんなのつどい
／献血へ行こう！／人事往来 …… 18
● 骨の健康を守ろう！ …… 19
● がん検診へ行こう …… 20
● みんなの暮らし ～各課からのお便り～ …… 21
国民年金■教育委員会だより■竜王っ子の給食
■こんにちは保健師です■福祉の窓■子育てインフォ
■公民館ニュースレター■ミニ特集本のもり
● お知らせ掲示板 …… 26

“竜王っ子”の元気な一年がスタート！

今日はお習字の日。先生の字をお手本に、筆と墨を使って初めてのお習字をしました。今年も一年、半紙いっぱいに書き上げた伸びやかな二文字のように、元気いっぱいに過ごしてくださいね。

12月8日「お習字」（ひまわり保育園 4歳児）

2012年 年頭のごあいさつ

第五次竜王町総合計画の実現に向かって

今 新たな出発

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、限りない希望とともに輝かしい新春をお健やかにお迎えになられたことと心よりお慶びを申し上げます。

また、皆さまには日ごろからまちづくり全般にわたり、ひとかたならぬご支援とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

昨年を顧みますと、まちの将来像を描く第五次竜王町総合計画を町民の皆さまにお示しし、大切な一歩を踏み出した心引き締まる一年でございました。

また、役場周辺のタウンセンターでは、2月に商業施設がオープンし、続いて3月に竜王町公民館改修工事の竣工を終えました。新しく生まれ変わったこの公民館を利用してくださる方々が飛躍的に増え、タウンセンターがまちづくりの拠点として次代を先取りする息吹が生まれつつあります。

「ふれあい、出会い、語らい」の場から笑顔が絶えないタウンセンターになれば、このことこそ**「〝ひと〟育ち みんなで煌く 交竜の郷」**の実現に近づいていくものと手応えを感じさせていただきました。

さて、本年はこの第五次竜王町総合計画の具体的な実施に向け、とりわけ**〝ひと〟**に焦点を絞り、**〝ひと〟**を大切にしながら

″ひと″育ち（そだ）
みんなで煌く（きらめ）
交竜（こうりゅう）の郷（さと）

人口増加に向け実行する年であります。
まちづくりに欠かすことのできない**″ひとづくり″**に、
たつ年を迎えた年頭に当たり、いま一度皆さんと共に心を一つにして、
力強く新たな一歩を踏み出してまいりたいと念じております。

新しい年が皆さまお一人お一人にとりまして、幸多き一年となりますよう、
そして竜王町にありましても輝かしい一歩が踏み出せる
″昇竜の年″となりますよう、心からご祈念申し上げます。

竜王町長　竹山秀雄

わがまち「竜王」を輝かせる人々

～2011年　竜王町「交竜の郷あえんぼ賞」受賞者の皆さん～

10月29日、「まちづくり煌きフォーラム」で「交竜の郷あえんぼ賞」の表彰者の紹介が行われ、皆さんに推薦いただいた中から、選考の結果、10者の個人・グループが受賞されました。

竜王町は、私たちの周りで、広く地域を支える奉仕活動や社会に貢献する活動、人知れず地道で心温まる活動、他の模範となるような善行活動などを行っているこれらの人・グループに深く感謝し、町民皆さんの心豊かな住みよいまちづくりへの参加が広がることを目指します。

※受賞者のご紹介は順不同です。

大塚 進一郎 さん（川守）

おおつか・しんいちろう

竜王野球スポーツ少年団結成以来、30年間にわたり、子どもたちの応援と見守り。送迎や差し入れなど練習の支援。

今も昔も少年野球のメンバーには、“大塚のおっちゃん”と親しみを込めて呼ばれている大塚さん。少年野球との付き合いは、竜王野球少年団が結成された約30年前。ワゴン車を所有していたことから試合などへの送迎を手伝われたのがきっかけとなり、以来、公式戦・練習試合を問わず、必ずと言っていいほど応援に駆け付け差し入れをし、声援を送りながら見守ってこられました。大塚さんは、「野球がもともと好きやったので」と事もなげに話されますが、「平成9年と11年には滋賀県代表になって…」、「何年やったら○○君とかうまかったなぁ」と、すらすらと話される様子に少年野球との深く長いつながりがうかがえます。団員の保護者からは、「どこの会場で前回の大会ではどうだったとか、よく覚えておられる。まちの応援団の代表という感じです」と信頼も厚い様子です。「そういや昔、スポ少にいた子が親になって二代目の子もいるなあ」と話される“大塚のおっちゃん”。今も昔も変わらない少年野球愛は、これからもあせることがありません。

寺嶋 篤夫さん（新村）

てらしま・とくお

幼稚園児のサツマイモ収獲体験をする際の畑とサツマイモを25年にわたり毎年提供。園の畑でも苗の植え方や世話の仕方を指導。

「近くの農地で草がぼうぼうに茂っていた場所があって、役場の職員から『子どもたちにイモでも植えてやってくれへんか』と声を掛けられ、イモやったら山之上の特産やし、それなら…と、始めたんです」と振り返られる寺嶋さん。以来25年間、毎年欠かさず子どもたちのために収穫体験用のサツマイモ畑を作ってこられました。「25年間にもなりますか。それだけ続けてこられたのは、体が元気だからで本当にありがたいこと。本当に何にも大したことではないです」と、終始謙遜し続けられました。「子どもたちと焼き芋をしてみたり、苗の植え方や育て方を話したりしたこともありました。長年していると世代が代わって、園児の親が『小さいころに来させてもらったわ』と言われることもありました」と顔をほころばされました。「体が元気な限りは続けていきたいです」と、にこやかに話される様子に、甘いほくほくのサツマイモと子どもたちの笑顔が思い浮かびます。

◀園児にクッキング指導する「ぐらちゃん」のメンバーたち

ぐらちゃん

メンバー13人が、高齢者デイサービスや一人暮らしの高齢者へ手作り弁当を提供。また、幼児へのクッキング指導や保護者向けのおやつ作り・弁当作りの教室も実施。

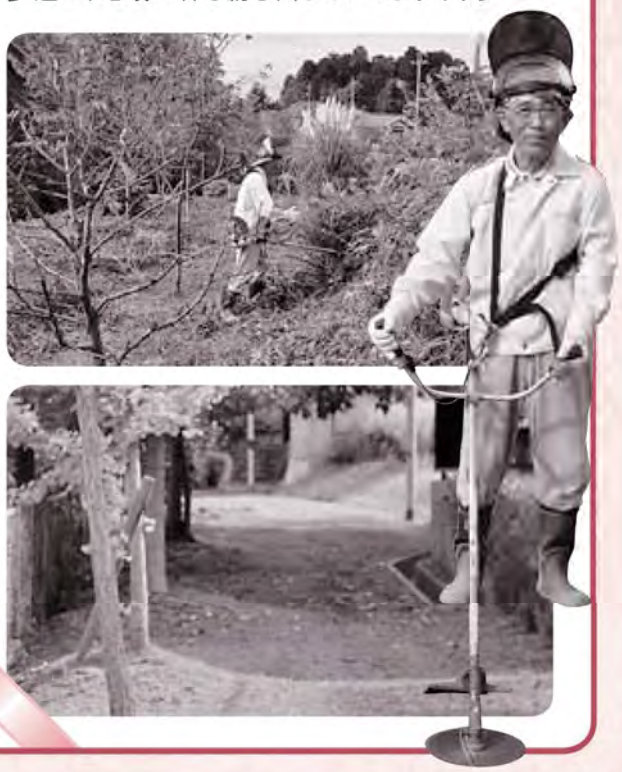
「ぐらちゃん」とは、グランドマザー（おばあちゃん）という意味。50歳代から70歳代までの女性13人のメンバーで、高齢者デイサービスや一人暮らしの高齢者へ手作り弁当を提供したり幼稚園の5歳児にクッキングを教えたり、料理を通して幅広く活動しておられます。「楽しいので毎回喜んで行っています」と代表を務められる福山泰子（ふくやまやすこ）さん。幼稚園でのクッキング指導では、「調理の時間は30分くらいと限られている中、お米がとれたので、ご飯を炊いておせんべいをしようかとか、園でとれた野菜を使ってピザにしようかとか、毎回試行錯誤しています。ダイコンを使ったホットドッグなんていうのもありました」と、活動開始から9年たってもアイデアはまだまだ尽きることがありません。園児に料理や食べることの楽しさを伝えるだけでなく、近ごろは保護者向けにお弁当作りの講習会を開き、栄養のことや食品添加物の話もされています。子どもからクッキングの話を聞いた親からレシピの問い合わせもあるそう。「ぐらちゃん」のメニューは、おいしく楽しい思い出の一つになり、竜王っ子の心と体を支えていくに違いありません。

尾﨑 恒夫さん（美松台）

おざき・つねお

地区内の荒れた小川を手入れ。サクラ15本のほか、ユズ・ミカン・アジサイなど四季折々の花を植樹し、区民が楽しめる散歩道を整備。

美松台の団地内を通る小川沿いに、サクラ、ピラカンサス、ユズ、イチジク、アジサイなど30本以上の樹木を植えられたのは、小川沿いにお住まいの尾﨑さんです。「京都の哲学の道のようにきれいになればいいなあ」という思いで始められた当初は、犬のフンの入ったビニール袋が散らばり、背丈が隠れるくらいの草やツルが茂っていたといわれます。「定年になってから竜王に来て、家の窓から桜並木が見えたらなと思っていました。もともと地域のボランティアの人がきれいにしてくれていましたが、だんだん活動が下火になってしまっていたので、自分たちの身の回りは自分たちで整備しようと決心して始めました」。10年前に始められて現在に至るまで、ご夫妻でこつこつと草刈りやごみ拾いをされて、約100メートルの小川沿いの手入れを続けられています。「最近は足が痛くなって、草刈りなど十分にできないんですけども、近所の方がごみを捨てないでと呼び掛けるポスターを作ってくださったりして、ありがたいです」。四季折々の花や樹木が楽しめる散歩道は、地域の絆も紡ぎ出しているようです。



山面さわやかパトロール隊

山面地区で防犯パトロールを８人のメンバーで継続実施。草刈りなど美化活動や地域の３世代が交流できる地域行事も推進。

「地域のことはまず地域で何とかしないとと思って」と、頼もしい決意を持って結成された「山面さわやかパトロール隊」。過去、地区内に不審者が現れることが2回続いたことをきっかけに、山面地区の有志で立ち上がりました。現在のメンバーは男女合わせて8人。週に2回、年間を通じて防犯パトロールを続けておられます。「夜8時ごろに懐中電灯を持って集まります。80歳を超えるメンバーもいて、あれやこれやおしゃべりしながら1時間以上歩きます。老人車やハウスカーをつえ代わりに押しながら来る人もいるんですよ」と楽しそうに話される代表の長江（ながえ）とみ江（え）さん。玄関にはパトロール用のジャンパーやたすきが常に準備されています。「防犯パトロールだけでなく、通学路のごみ拾いや花植えもしています。近ごろは子どもからお年寄りまで3世代が交流できる地域行事の開催にも力を入れています。竜王の夏祭りにも3世代で踊りました」とのこと。山面地区の安全・安心のため、さらには誰にとっても温かで居心地のいい山面の地域づくりのために、パトロール隊の活動は、四方八方に広がっていきます。

菱田 善雄 さん(駕輿丁)

ひしだ・よしお

13年前から地区内と県道を毎週ごみ拾い。長年の活動によりポイ捨てごみが著しく減少。環境美化で地域に貢献。

「定年退職して、何か地域に恩返しできないかと考えて。最初は火の用心の夜回りをと思ったけど、もともと火事のない所なので、夜回りしてから火事が起こってもかなわんから、じゃあ、ごみ拾いでもしようかと」と決められたのは13年前。それ以来菱田さんは、地元駕輿丁の地区内と県道沿いのごみ拾いを毎週続けておられます。ごみの入った袋を窓から投げ捨てた車を止めて、「おっさん何してるか分かるか、ごみ拾ってるんや」と叱咤(しった)し、捨てたごみを拾わせたというエピソードもあるように正義感の強い菱田さんは、「目に入ったごみはどんなごみでも拾う」と徹底されています。「10年前と比べると地区内は減ったけど、県道沿いはたばこの吸い殻が多いなぁ。夏はペットボトルのごみも多い。続けられる限りは続けますよ」と話される菱田さん。こつこつと一人でごみを拾う姿に、今日も「みんなができひんことを、ようしてくれてるなぁ」、「おっちゃんご苦労さん」と、道行く大人・子どもから声が掛かります。

竹山 千代子 さん(西山)

たけやま・ちよこ

近隣の一人暮らしの高齢者宅への声掛けによる見守りや、敷地の草刈りや生垣の刈り込みなどの奉仕を継続して実施。

竹山さんは、近所に一人暮らしのお年寄りがおられたことがきっかけで、一人暮らしの高齢者への訪問や見守り、草刈りや生垣の刈り込みを始められました。「もともとおせっかい焼きやから、自分のことをほったらかしにしても他の人を構いたがる性分なんです」と自己分析される竹山さんは、夜に出歩くときも一人暮らしの家に電気がともっているか自然と確認してしまうそうです。「草刈りのついでに、一緒にいっぷくして話し込んだりしています」と、楽しみながらされている様子。地域では、小学生から大人までに“ちよちゃん”と呼ばれ親しまれておられます。「草刈り機は趣味のようなもの。県道の歩道で『女やってできるんやでー』と張り切ってると、通りすがりの自転車の学生が頭を下げて行ってくれたこともありました」。地域の皆さんに「働き者」と評されるとおり、高齢者宅の見守りのほかスクールガードもされるなど、活動範囲はとどまることがないようです。

山中 忠義さん（山中）

やまなか・ただよし

地域のゴミステーションの美化とごみ減量を目指して、ごみの正しい分別の知識の普及やごみに対する責任意識を育む活動に尽力。

町の実施する「ごみ減量チャレンジ優良地区報償事業」で3年連続1位を達成した山中地区。地域全体で取り組まれる姿勢とその工夫は、まさにナンバー1。ほかの自治会にもその取り組みが紹介されているところです。そして、この山中地区のごみ減量の取り組みの先駆者が山中さんです。もともと町のエコライフ推進協議会の委員もされていた山中さんは、かつて生ごみの汁で汚れ、分別不十分で回収されなかったごみ袋が残ったままであった山中地区のゴミステーションを何とかしようと決心されました。まずは家庭から出るごみを分別・分析されることから始められ、常にきれいなゴミステーションを維持するための仕組みを検討し、ごみの正しい分別方法や知識をポスターで呼び掛けたり、地区で勉強会を開いて伝えたりしてこられました。これにより、区民一人一人のごみに対する意識も徐々に変わり、ごみの出し方や処理方法について自治会みんなで声を掛け合えるようになりました。ナンバー1になってからも、山中さんはゴミステーションの見回りを続けられ、改善に余念がありません。

▼自治会でごみ減量について話し合い、各家庭に合わせたごみ処理方法を考えました

長江 茂さん（山面）

ながえ・しげる

「竜王清流会」による善光寺川の環境美化作戦に積極的に参加。個人としても1カ月半にわたり、河川の急斜面に自ら重機を持ち込み竹木を撤去。

「竜王清流会」が取り組む善光寺川の環境美化作戦に積極的に参加されている長江さん。安全面から清流会で手に負えない下流の急斜面に所有する重機やトラックを持ち込み、茂った竹や樹木を撤去されました。この活動は実に1カ月半にわたり、整備された斜面は2キロメートルにも及びます。「作業を始めて何日かたったら、最後まで行けるかなぁと心配になってきた」と心情を明かされつつも、「毎日張り合いがあって楽しかったなぁ」と振り返られます。どこの集落も団体も手掛けることのなかった善光寺川の美化に、清流会のメンバーとして、また、一個人として積極的に関わり続けておられます。「足洗川（あしあらい）の土手を42日間作業し続けたら、川の向こうの道を通っている車がすっかり見えるようになった」と茂さんが大仕事の達成をさらりと話されると、同じく清流会活動に尽力される妻のとみえさんが、「夏にはあちこちの花火も見えるようになりました。『あ、あっちも、こっちも』と言いながら土手で見ていました」と話されました。長江さんや清流会の地道な取り組みが、竜王町の景観をさらに美しいものに変えていきます。

ありがとうの声

10月29日に行われた「まちづくり煌(きらめ)きフォーラム」で、受賞者の皆さんとその活動を町民の皆さんへご紹介しました。フォーラムに参加された皆さんからいただいた感想を紹介します。

このような賞ができると竜王町でもがんばっている方、地域のためにいろいろなことをしてくださっている方のことが知れてとても良い。 **20歳代 女性**

町のために素晴らしい活動をされている人がいると知りました。大変なこともたくさんあると思いますが、これからもお体に気を付けてがんばってほしいと思います。 **20歳代 女性**

何十年にもわたって地域のために活動できる方は、本当に素晴らしい方だと思いました。町全体でそういう方に感謝を表すことができて良かった。日常でも感謝を忘れてはいけないとあらためて感じました。 **30歳代 男性**

素晴らしい取り組みをされている方を知ることができた。私も子どもの手が離れたら、人の役に立てることがしたいです。 **30歳代 女性**

小さいことでもいいので、できることから始めていけたらいいなと思いました。 **40歳代 女性**

たくさんの人に支えられて生きてきました。シニア世代になり、何か役に立つことをしたいと思いつつ、出番を探しています。身近なできることをしているが、長く続けられるようにがんばりたい。 **50歳代 女性**

この表彰制度を続けてください。皆さんの励みになると思います。 **60歳代以上 男性**

谷口 弘和 さん(西出)

たにぐち・ひろかず

幼稚園児たちに少しでもより良い環境をと、毎年8月に、園の遊具の修理や棚の作成など大工作業により奉仕。

ご自身も竜王幼稚園の卒園児である谷口さん。工務店を営まれるようになり、仕事で訪問した学び舎が「ボロボロなのにがくぜんとして」と、修繕を買って出られたのが始まりだそう。以来6年、園児たちに少しでもより良い環境をと、仲間に呼び掛け、毎年8月に大工道具を持ち込み園舎の手入れを行われています。「遊具の修理をしたり保育室の棚を作ったり、ウサギ小屋を修理したりしています。竜王町のためになれたらいいし、子どもたちにも『大工さんてカッコイイ』と思ってもらえたらうれしいですね」と谷口さん。夏休みが終わると、谷口さんたちの手でピカピカになった園舎や積み木が子どもたちを迎えます。「子どもたちに夢を与えたい」と話される谷口さんは、園が開くお世話になった人たちとの交流会「ありがとうの会」で、大工も子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごされているとのこと。自らも夢を育まれた学び舎で、その修繕を通して園児の夢を育んでおられます。

次世代へのギフト

みんなで創る（つく）未来への設計図 20

問 政策推進課 政策推進係 ☎58-3701

第五次竜王町総合計画 2011▶2020
若者が住みたくなるまちへ…

若者定住に向けた5つの実行方針スタート！

第五次総合計画では、まちづくりを担う人（人口）に焦点を当て、とりわけ若者世代の人口増を大きな目標としています。このことから、第一に「若者定住」に向けた具体的な施策の目標と5つの実行方針を掲げます。併せてまちづくりの現実課題でもある「地域コミュニティーの持続」、「農業・農村の維持」、「産業の活性化」についても目標を掲げ施策を展開していきます。

目標

- 新しい若者を増やす（町内に住んでもらう）
- 若い夫婦を増やす（結婚に導く）
- 若者の町外流出を抑える（町内に住み続けてもらう）

地域コミュニティーの持続

目標
- 自治会組織を持続させる
- 地域の絆づくり

農業・農村の維持

目標
- 農地を荒廃させない
- 農村集落を維持する

産業の活性化

目標
- 就労と税収を確保できる企業を増やす
- 新たな産業をつくり出す

5つの実行方針

交流

1 出会いの場を創出する
- 若者交流担当部門を設け、交流事業を企画推進
- 町民と行政の中間組織を検討し、若者交流事業を実施

定住

2 若者の住宅用地を確保する
- 企業従業員向け集合住宅を確保
- ニーズを把握し住宅整備計画を策定
- 住宅相談、情報窓口の充実

3 若者の居住を支援する
- 若者の住宅整備等への助成制度等
- 在住・在勤の若者に集合住宅等への入居支援

活動

4 子育て・教育環境を向上させる
- 安心して出産・子育てできる生活支援
- 子どもが学びやすい教育環境を整える

5 若者が暮らしやすい地域をつくり出す
- 自治会運営の検討や生活改善を行う実行運動を展開
- 若者の思いを活かす地域づくりや若者の活動を応援

車座トーク

「まちづくり煌（きらめ）きフォーラム」

わかもんが暮らしたいまち、暮らせるまちへ

昨年の10月29日に開催された「まちづくり煌きフォーラム」で、町内の農業者・若者・自治会長などを代表した10人が、若者定住について意見交換を行いました。

仲野 優子さん（ひとまち政策研究所理事）

交流という言葉は良いイメージかもしれませんが、裏を返せばぶつかり合いということです。ぶつかり合いも基本的には、相手の立場になって考えることが重要です。皆さんが地域で若い人たちの意見を取り入れるためのさまざまな工夫を提案していただきたいと思います。

川部 由紀子さん（子育てサポーター）

地域の環境、人のつながりという中で、子どもたちは安心して育っていると思います。中学生の子どもが修学旅行から帰ってきたときに、「都会では、あいさつしても誰も返してくれやらへん。竜王町は、やっぱええわ」と言っていました。今ある良いものを失わないように、みんなが地域のことを少しでも考える機会を設けることが大事だと考えます。

市岡 新也さん（竜王町青年団長）

青年団には現在約２００人が所属しています。昔は約３００人いました。アパートやマンションを増やして交通も便利にすることで、竜王町に住む人が増え、青年団の団員数も増えればと思います。

田中 諒さん（ダイハツ寮生）

工場勤務は体力勝負なので、寮を出たときは職場に近い所へ住みたいです。若者が住みやすいアパートなどを増やしていただいて、皆さんにより良い車を届けたいと思っています。

澤井 泰一さん（綾戸自治会長）

綾戸では、２年ほど前から改善委員会を立上げ、行事や習わしについて若い奥さんに参加いただき、若い人たちへ継承できるように検討や実践をしています。住宅施策は、町が集落単位で開発を行っていく方がいい。そうすれば、新しい住民と従来からの住民との関係もうまくいくと思います。

坂口 直司さん（ＮＰＯ法人りゅうおう代表）

竜王町には、古くから伝わる文化や暮らしの知恵、景色など良いものが残っていると思います。それを大切に守りつつも、若い人たちに年上の立場で意見を押し付けることなく、聞き出していける場を築いていきたいです。

谷村 彰夫さん（農業後継者）

竜王町は近江牛の発祥の地なので、目標人口１万４０００人を人口７０００人、牛７０００頭にした方が活性化するかもしれません。まったく新しい発想で、リスクを侵してでもまちづくりを行うことが必要だと思います。

坂口 実奈美さん（ダイハツ寮生）

寮を出てからも会社の近くに住みたいと思う人は多いと思うので、アパートがあればすごくうれしいと思います。竜王町は不便なことも多いですが、緑も多く、町民の人柄も良く、会社でも楽しく働いているので、できれば住み続けたいと思っています。

越智 賀都子さん（竜王町地域振興事業団職員）

竜王町にはアウトレットパークや図書館、スポーツ施設といった良い施設がありますが、それらを結ぶアクセスが少ないと思います。バスを頻繁に運行してもらうなど、便利な交通アクセスをつくってほしいです。本当はＪＲの竜王駅があると一番いいのですが…。

コーディネーター　谷口 浩志さん（びわこ学院大学教授）

将来のまちづくりに向けての議論を、町の至る所でできるような機会があれば、町はさらに素晴らしいものに発展すると思います。その際は、今ある良いものをいかに活かすかということ、地域の特性を活かすこと、町が目指している方向性を町外から来た人とも共有することがまちづくりを成功に導く大きな要因であると考えます。

決算

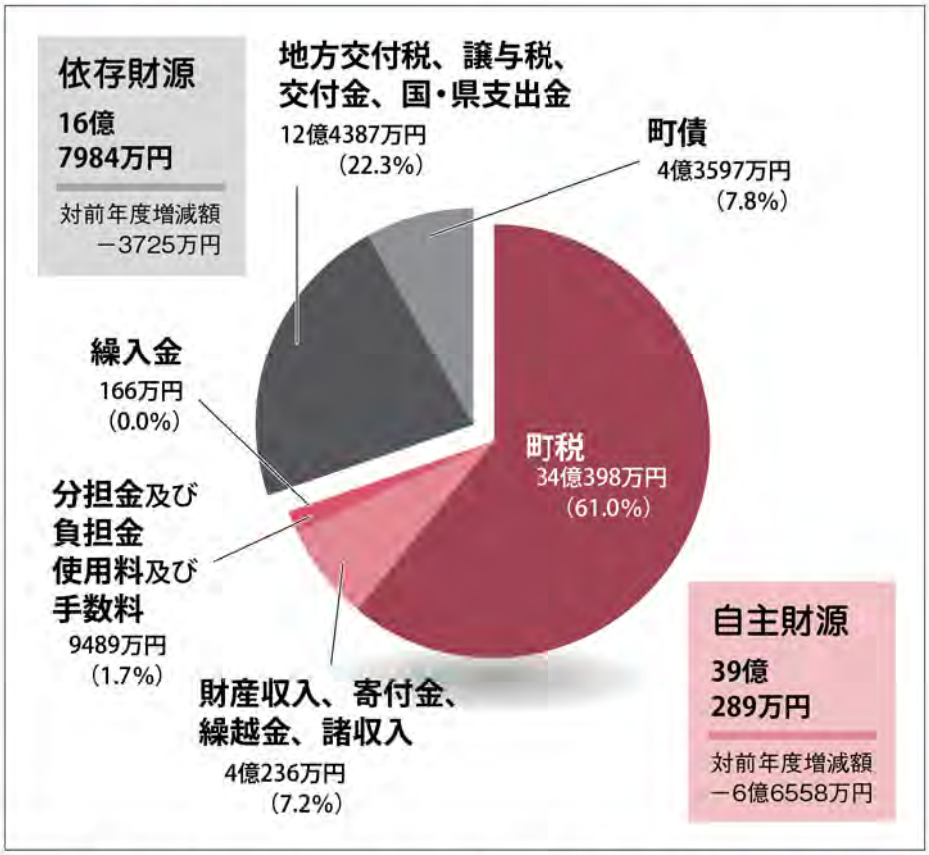
平成22年度

まちの家計簿

平成22年度の竜王町の決算がまとまりました。
決算は、私たちが納めた税金や国・県からの補助金などのお金が、暮らしやまちづくりの中で、どのように活かされたかをまとめたものです。
では早速、町の家計簿のあらましを見てみましょう。

一般会計 歳入 55億8273万円

（対前年度増減額：－7億283万円）



歳入は前年度に比べて企業収益が改善し、景気が緩やかな回復傾向となり法人税をはじめとする町税収入が増加しましたが、まちづくり交付金事業の主要部分および定額給付金事業の完了による国庫支出金および繰入金の減少により、総額は減少しました。また、国や県の歳出抑制により町の歳入は、今後さらに減少することや低い水準で推移することが予想されます。

家計でいうと… 月収入 56万4980円

- 世帯主の収入（町税） …… 34万4488円
- 親からの仕送り（地方交付税、譲与税、交付金、国・県支出金） …… 12万5882円
- 銀行からの借入金（町債） …… 4万4120円
- その他の収入（財産収入、寄付金、繰越金、諸収入） …… 4万719円
- 事業収入（分担金及び負担金、使用料及び手数料） …… 9603円
- 預貯金の引き出し（繰入金） …… 168円

「平成22年家計調査」（総務省）における勤労者世帯（2人以上の世帯）の1カ月間の平均実収入額52万692円を採用し、全ての項目は、この実収入と歳入決算額（町債・繰入金を除く）の比率に合わせて計算しました。また、一般会計の歳入と歳出を性質別に分類し、家計の収支に似た項目に置き換えました。

用語解説

歳入

■町税

町へ納められた個人・法人町民税、固定資産税、軽自動車税などの税金です。

■財産収入

町が有する財産の貸し付け、売り払いなどにより得たお金です。

■分担金及び負担金、使用料及び手数料

町の施設を利用したときなどに支払われるお金です。

■町債

財政融資資金などの政府系資金をはじめ県（市町振興資金）や銀行などからの借入金です。

■地方交付税、譲与税、交付金、国・県支出金

行政サービスをしていく上で不足する分を、国や県が補うお金です。

歳出

■物件費

各施設の電気代やメンテナンス料、日常使用する紙代やコピー代（事務消耗品）などです。

■補助費等

町が加入する団体への負担金や、各種団体への補助金などです。

■扶助費

医療費などの給付や子ども手当などの支援金です。

■繰出金

特別会計を安定的に経営するために、一般会計から特別会計へ一定のルールなどに基づいて繰出すお金です。

■普通建設事業費

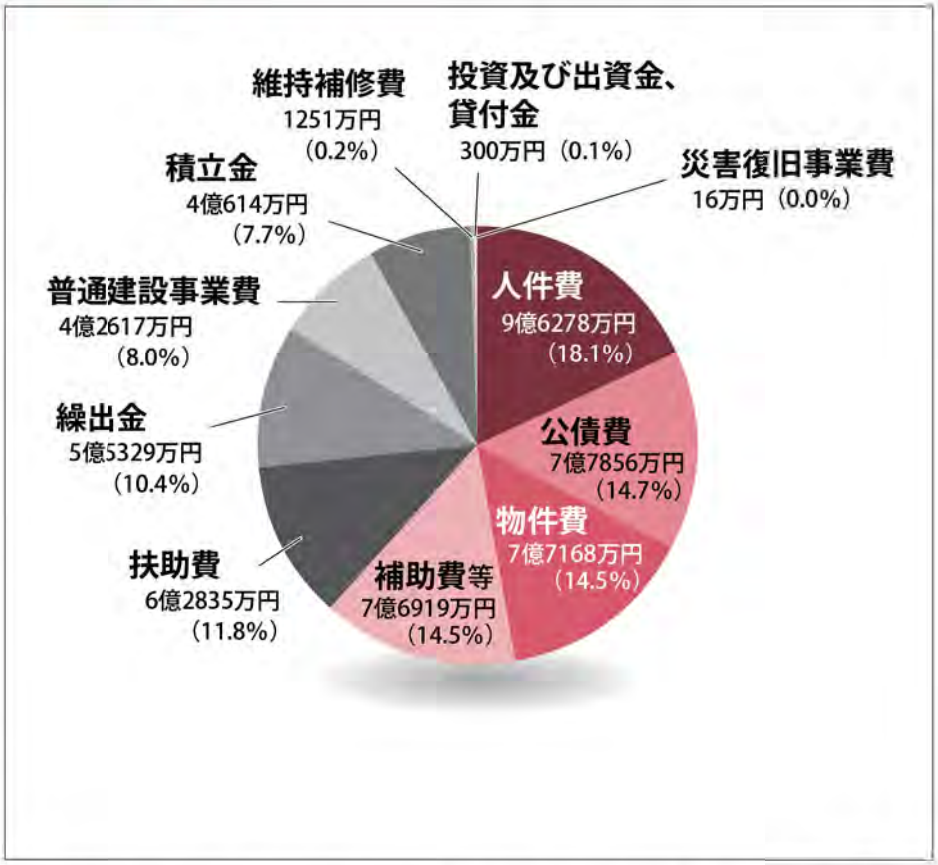
さまざまな施設や道路の整備などのために使うお金です。

■投資及び出資金、貸付金

地域発展に必要な法人などに出資したり、制度に基づいて町内の中小企業に貸したりするお金です。

一般会計 歳出 53億1183万円

（対前年度増減額：－6億8555万円）



歳出は前年度に比べて子ども手当の創設などにより扶助費などが増加しました。一方、まちづくり交付金事業の主要部分および定額給付金事業の完了により、普通建設事業費および補助費などは減少しました。

今後は、老朽化による教育関連施設の改修経費および社会保障関連経費のさらなる増加が見込まれるため、なお一層の歳出構造の見直しが求められており、国・県に頼るだけではなく、まちの持つ優位性を最大限に活用することで、より一層強い財政基盤を築くことが大切です。

家計でいうと… **月支出 53万7566円**

●食費（人件費）	9万7435円
●ローンの返済（公債費）	7万8792円
●光熱水費、衣服代ほか（物件費）	7万8095円
●友人への支援金（補助費等）	7万7843円
●医療費（扶助費）	6万3590円
●子どもへの仕送り（繰出金）	5万5994円
●住居の増改築（普通建設事業費）	4万3129円
●貯金（積立金）	4万1102円
●住居の補修（維持補修費）	1266円
●町内会費（投資及び出資金、貸付金）	304円
●災害による被害の補修（災害復旧事業費）	16円

平成22年度は、このような事業にお金を使いました

安全で安心して暮らせる舞台づくり

- 道路舗装修繕・補修および水路蓋（ふた）の取り替えなど道路橋梁（きょうりょう）の維持補修を行いました …… 884万円
- 防火水槽未設置区へ防火水槽を設置しました …… 519万円
- 児童・生徒の通学時の安全確保などのため、指導員を設置しました …… 452万円
- 路面表示の整備およびカーブミラー、道路照明灯を設置しました …… 200万円
- 小学生への防犯ブザーの配布およびこども110番の家ならびにスクールガードの保険加入を行いました …… 21万円

快適でうるおいのある生活環境づくり

- 町公民館の増改築工事および竜王インターチェンジ周辺の歩道拡幅工事を行いました …… 3億1742万円
- 竜王インターチェンジ周辺の交通安全施設の充実および松が丘バス停の新設などを行いました …… 4031万円
- コミュニティ助成事業として、集会所の事務備品に係る費用および遊具の整備などについて助成を行いました …… 2560万円
- 近江バス岡屋線の維持、コミュニティバス八幡竜王線の運行のため、補助金を交付しました …… 1647万円
- 自治会の生活環境整備事業（自ら考え自ら行うまちづくり事業）に助成を行いました …… 814万円

活力と交流を生むたくましい産業づくり

- 農村環境の機能維持および環境こだわり農業に取り組む組織へ支援しました …… 1548万円
- 「プレミアム商品券」など商工振興対策に係る補助を行いました …… 962万円
- 観光協会への補助および着地型観光プランニングなど観光振興に係る事業を行いました …… 840万円
- 土産土法の考えに基づき特産品の産地育成、環境に配慮した栽培に対し支援しました …… 511万円
- 高齢化が進む山之上農林公園内で農作業の支援をしました …… 249万円

いきいき暮らせる健康・福祉づくり

- 乳幼児や重度心身障がい者（児）、高齢者、母（父）子家庭などを対象に医療費の一部を助成しました …… 1億435万円
- 妊婦健診の公費負担を拡充するなど母子保健の向上に係る事業を行いました …… 885万円
- 一人暮らし高齢者などに配布している緊急通報システムに係る費用の負担および、在宅の要介護高齢者などが使用する紙おむつ購入費に対して助成を行いました …… 460万円
- 発達支援員を設置し、関係機関との連携調整や相談業務を行いました …… 347万円
- 従来の幼稚園教育終了後に試行的に預かり保育を実施しました（2年目） …… 268万円

新しい時代を拓（ひら）く魅力ある場づくり人づくり

- 小学校のプールの改修および棟の防水工事などを行いました …… 2191万円
- 町立図書館の図書を購入しました …… 1012万円
- 小・中学校において外国語（英語）指導助手を配置しました …… 523万円
- 問題を抱える子どもの対象を高校生から青年層まで拡大し、引きこもり青年などの社会参加を促進する取り組みを関係機関と連携しながら実施しました …… 103万円

生活を高める個性豊かな薫り高い文化づくり

- 町内に所在する山岳寺院について、悉皆（しっかい）調査を実施しました …… 790万円
- 文化財の現状を把握するための調査や保存・修理などを行いました …… 287万円
- わんぱく交竜塾などを開講しました …… 136万円
- 公民館教室を開講しました …… 119万円

行財政改革をすすめる揺るぎない町づくり

- 第五次総合計画を策定しました …… 309万円

年度末の基金残高

18億7634万円

（対前年度増減額：４億439万円）

何か大きな事業をするときのために、あらかじめ貯めておくお金です。

年度末の借入金残高

58億8343万円

（対前年度増減額：－２億3081万円）

学校や庁舎などの施設を整備するために、町が調達した資金「町債」の残高です。

特別会計

歳入　26億5335万円

歳出　25億2047万円

国民健康保険事業特別会計

町が保険者となり、社会保険などに加入していない自営業の人などに医療費を給付する会計です。事業勘定の主な歳入は、国民健康保険税と国庫支出金です。

事業勘定

- 歳入 …… 10億4780万円
- 歳出 …… 9億6160万円

8620万円の黒字

医科診療所

- 歳入 …… 9643万円
- 歳出 …… 9011万円

632万円の黒字

歯科診療所

- 歳入 …… 5643万円
- 歳出 …… 5271万円

372万円の黒字

老人保健医療事業特別会計

法律により平成22年度をもって廃止となりました

高齢者の医療費を賄う会計です。

- 歳入 …… 254万円
- 歳出 …… 237万円

特別会計廃止により収入から支出を差し引いた17万円を一般会計へ引き継ぎました

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者の医療費を賄う会計です。主な歳入は、後期高齢者医療保険料などです。

- 歳入 …… 6993万円
- 歳出 …… 6984万円

9万円の黒字

問 総務課 行財政係　☎有 58-3700

一般会計のほかに「特別会計」と「企業会計」があり、暮らしに役立てています

介護保険特別会計

高齢者への介護サービス・支援サービスの経費を賄うための会計です。主な歳入は、介護保険料や支払基金交付金などです。

- 歳入 …… 6億 232万円
- 歳出 …… 5億9131万円

1101万円の黒字

学校給食事業特別会計

学校給食事業を円滑に運営するための会計です。主な歳入は私たちが支払った給食費負担金で、歳出は給食の材料費です。

- 歳入 …… 6699万円
- 歳出 …… 6615万円

84万円の黒字

下水道事業特別会計

生活環境の向上と河川の汚濁防止を目的に、下水道を整備するための会計です。主な歳入は、下水道使用料のほか、町債や一般会計繰入金などです。

- 歳入 …… 7億1091万円
- 歳出 …… 6億8638万円

2453万円の黒字

企業会計

歳入　3億　990万円

歳出　2億8363万円

水道事業会計（公営企業法第3条）

水道事業の経営のために設けられた会計です。収入の大部分は、私たちが支払った水道料金です。支出は、安全な飲み水を供給するために使われました。

- 歳入 …… 3億 990万円
- 歳出 …… 2億8363万円

2627万円の黒字

※上記の金額は税抜きで表示しています。

まちのホットニュース

竜王中学校が歯科保健優良校で特別賞を受賞！

竜王幼稚園・竜王小学校・竜王西小学校は奨励校に！

10月13日、「第56回滋賀県学校保健研究大会」で、平成23年度滋賀県学校歯科保健優良校の表彰式が行われ、3年連続「優良校」に選出された竜王中学校が「特別賞」を受賞し、竜王幼稚園、竜王小学校、竜王西小学校が「奨励校」に選ばれました。竜王町では、幼・小・中が連携して町独自の歯磨きソングを放送し、楽しく歯磨きを習慣付ける工夫をしたり、歯科衛生士による定期的な検診やフッ素洗口などで歯を強化したりして歯科保健に取り組んできました。その結果、平成17年度から「滋賀県で一番むし歯が少ないまち」の座を守りつづけてきた竜王っ子たち。大人になっても健康な自分の歯を守り続けてくださいね。

▼表彰式に出席された竜王小学校PTAの石井会長

▲PTA会員の8割の皆さんが参加してビオトープづくりに取り組まれました

竜小PTAに文部科学大臣表彰！

「子どもは社会の宝」―地域の教育力向上に貢献

11月22日、竜王小学校PTA会員の熱意と活動の功績が認められ、同校PTAに「平成23年度優良PTA文部科学大臣表彰」が贈られました。

同校PTAでは「ビオトープ委員会」を設置し、学校、地域の企業、事業者、住民と連携・協力しながら自然に恵まれた人口の庭づくりに取り組んだ結果、「学校ビオトープ大賞」を受賞されました。また、家庭での生活指導として児童の歯科保健活動にも協力し、平成18年度から20年度にわたり同小学校の「歯科保健優良校」の受賞にも貢献。さらに、平成20年から毎月第3日曜日を「家族会議の日」として家庭や地域が担うべき役割について保護者間で再確認する機会を設け、これらの活動により地域の教育力の向上や親育ちと子育て支援に大きく寄与されました。同会員の皆さん、このたびの受賞おめでとうございます。

▼「火の用心」のちょうちんを手渡し、防火を呼び掛ける女性消防隊員

地域防災に女性の"チカラ"を！

高齢者を対象に女性消防隊員が防火啓発

火災や地震が発生した緊急時には、男女に関わらず早急な対応が地域を守ります。竜王町消防団では、女性消防隊員が地域防災のため、11月27日に新村地区で住民の防火意識を促す「火の用心カルタ」を使い防火啓発を行いました。また、12月8日に川守地区、11日に小口地区の高齢者を自治会役員や民生委員児童委員と共に訪問し、「火の用心」と書かれた啓発品のちょうちんを一人一人に手渡しました。隊員らは「ストーブの近くには燃えやすいものは置かない」、「ガスコンロのそばを離れるときは、必ず火を消すこと」などの住宅防火を呼び掛け、初期消火の方法などを説明しました。女性消防隊員の皆さん、これからも地域防災のため、よろしくお願いします。

男性介護者を地域で支えよう

介護者を支える認知症シンポジウムが開催

12月1日、竜王町総合運動公園内の地域産業研修センターで、認知症の高齢者を介護する男性介護者の支援をテーマに「認知症シンポジウム」が開催されました。講師の立命館大学教授 津止正敏（つどめまさとし）さんは、「今や介護者の3人に1人は男性介護者で、『同じ境遇の人の介護の話が聞きたい』という彼らの声は切実です。介護をする人たちがつながることがより良い介護につながります」と介護者を支えるコミュニティーの必要性を話されました。参加者の一人は、「一人で介護をしていると思うとくじけそうになるが、周りも一緒に支えてくれると思えば力が湧きそうです」と介護者の思いを語られました。介護者が孤立することなく暮らしていけるよう地域で共有し、支え合えるまちを目指していきましょう。

▲高齢者を介護している人や支援する人など約40人が熱心に耳を傾けました

◀「おにぎり村のまちづくり」を宣言している川上のロゴマーク

▲離れて住んでいる家族や親戚なども集まり、にぎやかにクラフト作りをしました

自治会ニュース

家族も親戚も"おにぎり村"に集合

川上で多世代地域交流「冬のお楽しみ会」が開催

おにぎりのごとくみんなが一つに団結し、全員参加のまちづくりを目指した川上地区で、12月11日、「冬のお楽しみ会」が開催され、区民とその家族や親戚など約43人が集まりました。3年目の開催となるこの会では、今年は加齢による身体的な変化を知るために高齢者の疑似体験をしたり、クラフト作りやパネルシアター鑑賞を楽しんだりしました。また地元の野菜を使った昼食で席を囲み、多世代でふれあいのひとときを過ごされました。川上では、「みんなとの絆を大切にしていきたい」との思いから地域での行事があると大人も子どもも全員が協力して行い、毎回ほとんどの区民が参加されているそう。これからも、おにぎりのような味わいある魅力的な自治会づくりに取り組んでいかれます。

じんけんを考えるみんなのつどい

来て！見て！心で感じて！

1月28日㊏ 13:30〜16:00（13:00〜受付） **竜王町公民館 ホール**

今年もこのつどいに参加して、あなたの人権意識を高め、実践へと高めていくエネルギーを満たしてください。お互いの心を大切にできる、素敵なあなたに変身しましょう！

プログラム

1 人権作品最優秀者表彰式と人権作品最優秀者からの発表

2 朗読劇

「絆 Forever ～3.11を忘れない～」

じんけんを考えるみんなのつどい実行委員会の皆さん

参加は無料
手話通訳あり

託児所（無料）あり
事前に下記へお申し込みください

問 ●政策推進課 人権広報係 ☎内 58-3701
●教育委員会事務局 生涯学習課 ☎内 58-3711

3 記念講演

「男だてら」に「女泣き」

～もっと豊かに生きられる～

奥山（おくやま） 和弘（かずひろ）さん

プロフィール

現在、静岡県内の高等学校校長。これまで個人的活動として男女共同参画社会に向けての啓発活動や著書あり。また、（社）日本漫画家協会会員として同人誌発行や授業でマンガを活用する研究もされています。

年明け1番 献血へ行こう！

わずかな時間で救える命があります

冬季は献血者数が減少します。輸血用血液の確保と安全な血液を安定的に確保するため、献血活動に一人でも多くの皆さんのご理解とご協力をお願いします。

今回の献血は、全血献血（200㎖・400㎖）のみとなります

と き ■ **1月18日㊌**
10:00〜12:00／13:00〜15:30

場 所 ■ 竜王町公民館 駐車場

持ち物 ■ 献血カード（持っている人）、または身分を証明できる物（運転免許証や保険証など）

全血献血とは？
血液中の全ての成分を献血する方法です

実施中

はたちの献血キャンペーン 1月1日㊐〜2月29日㊌

はたちになったら献血！

問 健康推進課 保健予防係（保健センター内） ☎内 58-1006

人事往来

人権擁護委員

永岡 孝信（ながおか・こうしん）さん（西出）

こんな仕事をします▼

地域の皆さんが人権について関心を持ってもらえるような啓発活動や身近な相談相手として悩み事や心配事の相談活動を行います。

任期 平成24年1月1日〜平成26年12月31日

40歳以降の女性は骨密度の減少に要注意！

骨の健康を守ろう！

若いうちから、骨をコツコツ貯金して

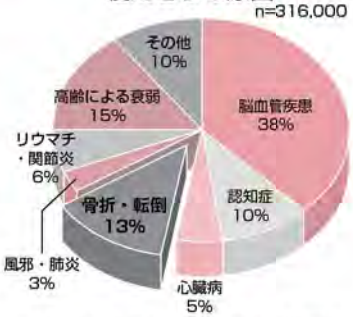
骨粗しょう症とは？

骨も皮膚や髪の毛と同じように新陳代謝を繰り返しています。しかし、新しく作られる骨の量より壊される量が多くなると、骨は軽石のようにスカスカになり骨折しやすい状態になります。このような状態が骨粗しょう症です。

骨折は介護が必要になる原因の第2位

年を取るとカルシウムの吸収率が低下し、骨量が減少します。骨が弱くなると骨折しやすくなり、寝たきりの原因につながります。

寝たきりの原因

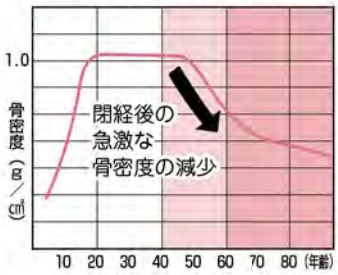


厚生労働省 平成10・11年国民生活基礎調査

閉経後の女性は骨密度が2割減

女性ホルモンの「エストロゲン」は、骨を強くする役割がありますが、閉経により分泌が極端に低下することで骨や関節がダメージを受けてしまいます。閉経の5年ほど前から骨量が減り始め、閉経後の10年間で骨密度は20パーセントも減少するため、骨密度は若いころと比べて8割になってしまいます。

女性の骨密度の推移



骨粗しょう症　予防と改善5か条

❶ 食事は規則正しく、バランス良く
❷ カルシウムをたっぷり取ろう
❸ 運動習慣を付けよう
❹ 1日1回は戸外に出て、日光に当たろう
❺ お酒、たばこ、コーヒーなどの嗜好品の取り過ぎに注意

骨粗しょう症予防　運動と栄養のポイント

骨は適度な刺激を与えることで丈夫になります。また、骨を支える筋肉を鍛えることも重要で、ウォーキングは最も適した運動です。歯磨きをしながらかかとの上げ下ろしをすることなども効果的です。骨密度を増やし保つには、骨の形成に欠かせないカルシウムをはじめビタミンDやビタミンKを取ることが必要です。「穀物＋タンパク質＋野菜」を組み合わせたバランスの取れた食事を心掛けましょう。

骨コツレシピ　カルシウムたっぷり炊き込みご飯

▶材料（4人分）

ひじき（乾燥）…8g、桜エビ…10g、シイタケ…40g、スキムミルク…大さじ4、塩…小さじ1/3、しょうゆ…小さじ1、米…2合、だし汁…2・1/2合、白ごま…小さじ2

▶作り方

①ひじきは水で戻す。シイタケは石づきを落として2等分にしてから千切りにする。
②炊飯器に、だし汁で浸した米にスキムミルク、塩、しょうゆとひじき、桜エビ、シイタケを加えて炊く。
③炊き上がったら、白ごまを混ぜる。

レポート　「骨コツ貯金教室」で骨粗しょう症予防！

竜王町では、町の集団健康診査で骨量測定を行い、骨量の計測値が低かった人を対象に骨粗しょう症予防教室「骨コツ貯金教室」を開催しました。骨粗しょう症について勉強した後、骨を強くするための運動を行い、カルシウムたっぷりのメニューを試食しながら栄養士から骨量を増やすための食事の取り方についてお話を伺いました。

▲運動指導士による筋肉を鍛える運動も行いました

▼カルシウムたっぷりメニュー

問 健康推進課 保健予防係　☎ 58-1006

がん検診へ行こう

あなたの大切な人へもお知らせください

今年度最後のがん検診です

問 健康推進課 保健予防係(保健センター内)
☎ 58-1006 FAX 58-1007

集団がん検診の日程

検診内容などの詳細は、広報4月号(12・13ページ)をご確認ください

時間 ●=午前(8:30〜11:30) 午後(13:00〜14:30) ▲=午前(8:30〜11:30)
場所 保健センター
持ち物 健康保険証、受診券、検診費用、夢カード(持っている人は、カードにポイントが加算されます)、がん検診予約票、検便(大腸がん検診の受診者のみ)、バスタオル(乳がん検診の受診者のみ)

	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮頸(けい)がん
平成24年1月25日㈬	▲	●	●	●
3月2日㈮	▲	●	●	●
対象者	40歳以上の男女	40歳以上の男女	40歳以上の女性(2年に1回)	20歳以上の女性(2年に1回)
費用	1000円	500円	1500円	700円

無料クーポン券が使えます

※クーポン券対象者には、すでに通知しています。

予約方法

1. 希望する検診を確認する
2. 電話またはFAXなどで、名前・生年月日・希望受診日・検診の種類などを保健センターへ伝える
3. 検診日までに保健センターから予約票などを送付します

年初めは健康習慣の第一歩

正月が明けても、休みモードからなかなか抜け出せず、眠気やだるさが続く状態をいわゆる「正月病」といいます。新しい年の始まりを心身ともに健康でスタートするためにも、お正月の過ごし方から見直し、一年を健康に過ごす第一歩にしましょう。

正月病を防ぐ3つのポイント

1 食べ過ぎない
おせち料理は野菜やイモ、豆類などを中心に食べましょう。

2 寝過ぎない
早寝・早起き、規則正しい生活リズムで過ごしましょう。

3 昼間はなるべく外出
初詣は徒歩で行くなどして、適度に体を動かしましょう。

今年の目標
今年こそ気になっていた健康管理を見直すぞ!

年に1回の健診もお忘れなく…

すでに正月病?!という人へ
〜正月疲れ解消のこつ〜

1 胃腸に休息日を
食べ過ぎた人は胃腸の休息日を設け、脂っこい物などは避け、お粥(かゆ)や野菜スープなど胃腸に優しい物を食べましょう。

2 適度な運動を
太陽の光に当たって、汗ばむ程度にムリなく運動を。

3 温泉やお風呂でリラックス
温泉や入浴剤を入れた風呂に浸かり、血行促進、疲労回復で精神もリラックス。

4 休み明けは早く帰る
休み明け早々の会議や用事は気持ちも憂鬱(ゆううつ)に…。できるだけ大事な会議や用事などは入れず、早く帰宅するように心掛けましょう。

国民年金のご案内

問 ●住民税務課 医療年金係 ☎内 58-3702
●草津年金事務所 ☎ 077-567-2220

国民年金制度とは

国民年金は、現役世代が高齢世代を支え、現役世代が高齢世代になったときに次の世代が支えるという「世代と世代の支え合い」（相互扶助）の仕組みで成り立っています。日本国内に住所のある20歳から60歳未満の全ての人は、国民年金に加入することが法律で義務付けられています。

20歳からスタート！「国民年金」に加入して保険料を納めましょう

国民年金は全ての公的年金制度の基礎となるもので、日本国内に住所のある20歳から60歳未満の全ての人は、国民年金に加入することが法律で義務付けられており、学生の人も加入しなければなりません。

公的年金制度は、現役世代が高齢世代を支え、今の現役世代が高齢世代になったときには次の世代が支えるという「世代と世代の支え合い」（相互扶助）の仕組みで成り立っています。

また、国民年金は、老後の生活保障だけでなく、万が一、病気やけがで障害が残ったときや一家の働き手が亡くなったときなどに、あなたやあなたの家族を守ってくれます。

ただし、加入の届け出忘れや保険料の納め忘れがあると、年金が受けられないことがあります。

20歳を迎えるこの機会にしっかりと人生計画を立て、自分自身の将来のために国民年金に加入し、保険料を納めましょう。

祝 20歳を迎えられる皆さん 成人おめでとうございます！

年金受給者の皆さんへ 公的年金等の源泉徴収票が送付されます

日本年金機構では、国民年金や厚生年金などの老齢年金を受けている人を対象として、1月下旬に「平成23年分の公的年金等の源泉徴収票」を送付します。この源泉徴収票は、確定申告の際に必要となりますので、大切に保管してください。

なお、障害年金や遺族年金は課税対象ではありませんので、源泉徴収票は送付されません。詳細は、左記へお問い合わせください。

ねんきんダイヤル ☎ 0570-05-1165

一日年金相談所（予約制）のご案内

年金に関する相談はこちらへご相談ください

草津年金事務所では、次の日程で出張年金相談（予約制）を開催します。ぜひご利用ください。

場所・日程
●近江八幡市役所 会議室 …… 2月2日(木)、3月1日(木)
●甲賀市水口社会福祉センター …… 2月9日(木)、3月8日(木)

申し込み方法 年金手帳など基礎年金番号の分かるものを用意し、相談希望日の3週間前までに次の方法でお申し込みください。
●電話での予約…8時30分～17時15分に、左記の予約専用電話でお申し込みください。
●FAXでの予約…役場 住民税務課に所定の申込票がありますので、記入して左記へ送付してください。

予約専用電話・FAX
●草津年金事務所 お客様相談室
☎ 077・567・1383
FAX 077・562・9638

※予約以外のご用件はお受けできません。

教育委員会だより

竜王町教育委員会事務局

1月26日㈭は「文化財防火デー」
文化財を火災から守ろう

私たちのまちには、国宝・苗村神社西本殿をはじめとする国指定の文化財が21件、左右神社文書（橋本）をはじめとする滋賀県指定の文化財が3件、須恵八幡神社の文書など竜王町指定の文化財が19件と多くの指定文化財があります。

これらの文化財は、地域の歴史や文化の成り立ちを理解する上で、欠かすことができない歴史的な価値を持つとともに、文化財そのものが観光資源となることもあるなど多くの価値を持っています。このことから、文化財はまさに先人が私たちに残してくれた地域の財産であるといえるのではないでしょうか。

このように価値のある文化財を損なうことなく次の世代に引き継いでいくためには、文化財の所有者・管理者だけが保存活動に取り組むのではなく、例えば、文化財周辺の環境整備や盗難・火災防止の見回りなど、地域住民が一体となって地道に保存活動を続けていく必要があります。

国では、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、文化財を火災、震災その他の災害から守る取り組みが各地で展開されます。この日を機会に地域で防火・防犯について話し合い、文化財を「地域の宝」としてみんなで守っていく意識を高めていきましょう！

▶国宝・苗村神社を守るための消火訓練（平成21年度）

文化財防火デーとは？

昭和24年1月26日に法隆寺の金堂壁画が焼損したことから、この日が「文化財防火デー」に制定されました

竜王っ子の給食

竜王町学校給食センター

安心・安全がおいしい竜王っ子の学校給食

竜王町学校給食センターでは、町内の幼・小・中の5校園の子どもたちのため、安心・安全な地場産（食材全体の67パーセント使用）の食材を使用して毎日約1400食の給食を作っています。

学校給食は、学校給食法に基づき、衛生管理基準が定められており、これに従って適正に管理しています。そのため給食センターでは、年1回の健康診断を含めて年3回定期的に職員の健康状態を把握し、毎日、下痢、発熱、腹痛などの有無を把握するとともに、規定する感染症またはその疑いがあるかどうかを点検し記録しています。

さて、今年も「ノロウイルス」が流行する時季ですが、昨年度の教訓を踏まえ、東近江保健所などの協力を得ながら改善策として、改築から30数年が経過している施設や設備を一部修繕しました。

また、独自に「ノロウイルス対応用衛生管理マニュアル」を作成し、職員の健康管理基準の見直しや月2回以上の検便の実施など、衛生管理を強化しました。

これからも学校給食センターでは、子どもたちへ安心・安全でおいしい学校給食を提供していくため、職員一同がんばっていきます。

▲トイレの改修、調理場内の床面の養生、換気扇の付け替え、食材の下処理水槽ラインの増設などを行いました。

こんにちは保健師です

問 健康推進課 保健予防係（保健センター内） ☎有 58-1006

ストレスや疲れ…あなたは大丈夫？

心の健康

■ うつ病などの精神疾患が増加

国では、がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病の「4疾病」に、新たに「精神疾患」を加えて「5疾病」とすることが決められ、社会全体で予防に取り組むべき疾患として対策を進めています。

精神疾患には、うつ病などの気分障害のほか統合失調症や認知症などが含まれ、患者は年々増加しています。2008年の調査では、精神疾患を抱える患者数は323万人と、最も患者数が多かった糖尿病の237万人を上回り、がん患者152万人の2倍を超えています。また、年間3万人を超えている自殺者のうち約9割は、何らかの精神疾患を抱えていた可能性があるとされており、これを含めると精神疾患による死亡者は4万人近くになります。

うつ病は通院・投薬が効果的な病気です。つらい状況を放置すれば治りにくくなります。「おかしいな…」と思ったら、できるだけ早めに医療機関で受診しましょう。

心の健康のために

ストレス解消法

スポーツやレジャーなど趣味を楽しみましょう。

ストレス対処法

- 自分の手に余る問題については、誰かに相談しましょう。
- 事故や失敗などで気持ちが落ち込んだりしたら、誰かに話して気持ちを整理し、できるだけ前向きに考えましょう。

アルコールに逃げてはダメ！

気持ちの落ち込みや寝付けないなどの症状を解決するためのアルコール摂取は、アルコール依存の危険を高め、うつ病を悪化させることもあります。

福祉の窓

児童の医療費の公費負担制度について

竜王町には、児童の医療費の公費負担制度について次の2つの制度があります。手続きなどの詳細は、保健センターへお問い合わせください。

未熟児養育医療

出生時体重が2000グラム以下、または身体の発育が未熟なまま出生した1歳未満の未熟児で、指定医療機関へ入院し、養育を行う必要のある未熟児に対して、医療の給付を行う制度です。（世帯の所得税額に応じて自己負担金があります）

給付対象■診察、薬剤または治療材料の支給、医学的処置・手術およびその他の治療、病院または診療所への入院およびその療養に伴う世話その他の看護、移送

自立支援医療（育成医療）

18歳未満で、身体に障害のある児童または現存する疾患を放置すれば将来において一定の障害を残すと認められ、手術などの外科的な治療によって確実な治療効果が期待できる児童に対して、その治療に要する医療費の一部を給付する制度です。

※指定自立支援（育成）医療機関での治療に限られます。

※原則、保険診療の1割の金額が自己負担となり、世帯の町民税額などに応じて月額上限額が設けられます。

給付対象■診察、薬剤または治療材料の支給、医学的処置・手術およびその他の治療ならびに施術（マッサージ）、病院または診療所への入院およびその療養に伴う世話その他の看護、居宅における療養上の管理およびその療養に伴う世話その他の看護（訪問看護）、移送

問 健康推進課 保健予防係（保健センター内）
☎有 58-1006
FAX 58-1007

子育てインフォ information

子育てアドバイス⑧

子どものがんばりをたくさん褒めてあげましょう

問 健康推進課 子育て支援係（保健センター内） ☎有 58-1006

質問 Question

子どもを褒めて育てたいと思っていますが、子どもから「えらいでしょう！」、「ありがとうは？」と催促してきます。褒められないとできない子どもになってしまうのではないかと心配です。

答え

子どもが、がんばったから褒めてもらいたい、ありがとうと言ってもらいたいと催促することは、「自分の行ったことに親が応えてくれる」という信頼感の表れであり、子どもの心が順調に育っている証拠です。

子どもから褒めてもらいたいと催促されたら、「えらいね」、「ありがとう」と応えてあげてください。

子どもを褒めるということは、親が子どものがんばりを一緒に喜ぶことでもあり、子どもにとって親の喜びが自分自身への自信へとつながっていきます。

子どもを褒めて育てることで、「自分ががんばると相手はきっと喜んでくれる」、「自分は人の役に立つことができる」という信念を持った子どもに育てることができます。

日常の生活の中で「がんばったね」や「ありがとう」の言葉を掛けながら、子どものがんばりをたくさん褒めてあげましょう。

ニュースレター 公民館 つどう まなぶ ふれあう

公民館2階
まちづくりフロアで活動する団体・グループをご紹介！

これからも住民皆さんに愛され、気軽に利用できる公民館を目指します

問 竜王町公民館 ☎有 58-1005

竜王町子ども会指導者連絡協議会

「竜王町子ども会指導者連絡協議会」では、各地区の子ども会が、それぞれの地域に根差した活動ができるよう、各地区の子ども会同士が交流しながら子どもの生きる力を育む事業を行っています。

こんな活動をしています

● 希望が丘はMYホーム（9月24日・25日）

自然や文化に親しみながら親子・子ども同士がふれあいを楽しみました

● 第51回親子球技大会（8月7日）

子どもたちの体力向上と子ども同士の団結を図りました

● 劇団うりんこ公演の鑑賞（11月13日）

子どもたちの創造性を伸ばすため、地域の子ども会と一緒に演劇を鑑賞しました

本のもり

ミニ特集

明けましておめでとうございます

新しい年の始まりです。「今年こそ、何か始めよう！」と考えられている人、ぜひ図書館においでください。図書館は、あなたの「見たい、知りたい」に、お答えします。

各部門第1位

料理の本

暮らしの本

一般書

小説・エッセイ

2011年 貸出ランキング

※( )内は貸出回数

小説・エッセイ

1位（35回）
麒麟の翼
著＝東野 圭吾　出版＝講談社

2位（31回）
謎解きはディナーのあとで
著＝東川 篤哉　出版＝光文社

3位（29回）
花の鎖
著＝湊 かなえ　出版＝文芸春秋

カッコウの卵は誰のもの
著＝東野 圭吾　出版＝光文社

一般書

1位（12回）
マネジメント〔エッセンシャル版〕
著＝P.F.ドラッカー　出版＝ダイヤモンド社

2位（11回）
12歳から学ぶ滋賀県の歴史
監修＝木村 至宏　出版＝サンライズ出版

0・1歳児のふれあい歌あそび
編・著＝塩野 マリ　出版＝ひかりのくに

絵図解よくわかる日本史&世界史同時代比較年表
監修＝関 真興　出版＝新人物往来社

ほか4冊

暮らしの本

1位（15回）
自分で作れるシュシュとヘアバンド
出版＝雄鶏社

2位（13回）
トイレットペーパーおりがみ
著＝東大折紙サークル「o r i s t」　出版＝講談社

はじめての野菜づくり
監修＝東京都立農芸高等学校　出版＝池田書店

いつでもどこでも血管ほぐし健康法
著＝井上 正康　出版＝角川SSコミュニケーションズ

料理の本

1位（13回）
体脂肪計タニタの社員食堂 続
著＝タニタ　出版＝大和書房

2位（11回）
いちばんシンプルな冷凍おかず
著＝牛尾 理恵　出版＝主婦の友社

すぐでき！おべんとうレシピ
出版＝ベネッセコーポレーション

中高生のお弁当
出版＝主婦の友社

イベント紹介

写真展「東日本大震災～その時図書館は～」

昨年3月に起こった東日本大震災では、現地の多くの図書館も被災しました。津波などによる深刻な被害の様子や、被災者が懸命に生きる姿を伝える写真展です。ぜひご覧ください。

とき 1月15日㊐～2月8日㊌
場所 町立図書館　展示コーナー

本が貸出中の場合は、予約もお受けしますので、気軽に職員へお申し出ください。

図書館には、ほかにもお勧めの本がたくさんあります。ぜひ図書館へお越しください。

問 竜王町立図書館 ☎有 57-8080
- 開館時間 10:00～18:00
  ※金曜日は20:00まで(試行中)
- 休館日 月・火曜日および祝日(1/9)は休館
  ※1/4(水)は館内整理日のため休館

おしらせ

平成24年度 竜王町入札参加資格審査を行います

役場発

資格審査項目
- 建設工事（平成24・25年度有効）
- 測量・建設コンサルタントなど（追加受付分、平成24年度有効）
- 物品の販売、役務提供など（追加受付分、平成24年度有効）

受付期間 1月30日(月)～2月3日(金) 9時～16時（11時30分～13時を除く）

提出先 役場 政策推進課（庁舎2階）

その他 提出書類、提出方法など詳細は、町ホームページ（URLは裏表紙参照）をご覧ください。

問 政策推進課 政策推進係 ☎有 58-3701

平成24年 経済センサス―活動調査にご協力ください

役場発

この調査は、日本の全産業分野における事業所および企業の経済活動の状況を明らかにするとともに各種統計調査の基礎となる母集団情報の整備を図ることを目的としています。

調査の期日は2月1日(水)です。全国すべての企業、事業所が対象です。調査票は1月末までに届けられますので、ご協力をお願いします。

問 政策推進課 人権広報係 ☎有 58-3701

経済センサスについては、こちらをご覧ください

経済センサス 検索

http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm

パスポートセンター 米原出張窓口から休業のご案内

滋賀県パスポートセンター「米原出張窓口」は、1月10日(火)は県立文化産業交流会館の休館日のため休業します。

申請は、通常、平日の火・水・木曜日に受け付けています。

就園前の子どもと保護者のふれあいの場

こどもひろば すくすく&プチどら

- 子育て親子の交流の場
- 親子向けの講座の実施
- 育児に関する相談・支援
- 地域の子育て情報の発信

就園前の子どもたちやその保護者を対象に、楽しく子育てができるよう、さまざまな事業を実施しています。子育て仲間との出会いの広場ですので、ぜひ一度お越しください。

1月のこどもひろば ※開催中の出入りは自由です。

曜日	月	火	水	木	金
開催時間	10:00～15:00		9:30～12:00 13:00～15:30	年始は5日から開催	10:00～15:00 年始は6日から開催
スタッフ	プチどら		すくすく		プチどら
開催場所	弓削ふれあいプラザ		保健センター 2階		弓削ふれあいプラザ
内容	自由遊び		11日(水) カルタ遊びをしよう 18日(水) コマを作ろう 25日(水) お好み焼きを作ろう		13日(金) 歌カルタで遊ぼう 20日(金) 小麦粉粘土で遊ぼう
お休み	9日（祝）				

家族で自由参加

「赤ちゃんひろば」へ行ってみよう！

「赤ちゃんひろば」に参加して、ママ友・パパ友づくりの輪を広げてみませんか。赤ちゃんの身体測定や育児の悩み相談などを受け付けています。

対象者 1歳までの乳児とその保護者
日時 **1月12日(木)** 13:00～15:30
場所 保健センター 2階 多世代交流室

パパ、ママおそろいで赤ちゃんと一緒にお過ごしください！

問 ●「こどもひろば すくすく」健康推進課 子育て支援係（保健センター内） ☎有 58-1006
●「こどもひろば プチどら」竜王町社会福祉協議会（福祉ステーション 2階） ☎有 58-1475

なお、年始は1月4日(水)から申請受付業務を行います。
※大津の窓口(ピアザ淡海内)は、土・日曜日および祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除き、通常どおり申請を受け付けています。

問 滋賀県パスポートセンター
☎ 077-527-3323

「震災 法テラスダイヤル」をご利用ください

日本司法支援センター(法テラス)では、東日本大震災の被災者への法的支援のため、「震災 法テラスダイヤル」を設置しています。被災者が直面する法的問題の解決に役立つ法制度や各種手続き、相談窓口などの情報提供を無料でご利用いただけます。

震災 法テラスダイヤル
☎ 0120-078309
受付時間 平日9時～21時、土曜日は9時～17時

問 法テラス滋賀
☎ 050-3383-5454

イベント

役場発

竜王いろはカルタ大会を開催します

とき 1月22日(日) 9時～
場所 竜王町公民館 1階 ホール
対象 町内在住の小学生
競技種目
●源平合戦の部(グループ対抗)
●個人の部
各部とも小学1・2年生(低学年)、3・4年生(中学年)、5・6年生(高学年)に分かれて対戦します。
申し込み 1月7日(土)までに下記へご連絡ください。

問 竜王町公民館
☎有 58-1005

みんなの応援も待ってます！

まちの相談窓口

相談は無料で、秘密は厳守します

心配ごと相談所

さまざまな心配ごとの相談

1月11日(水)・23日(月)
時間 10:00～12:00 勤労福祉会館

2月1日(水)・13日(月)・21日(火)
時間 10:00～12:00 勤労福祉会館

問 竜王町社会福祉協議会 ☎有 58-1475

行政相談所

国・役所・独立行政法人についての苦情・要望

1月11日(水)
時間 10:00～12:00 勤労福祉会館

2月13日(月)
時間 10:00～12:00 勤労福祉会館

問 総務課 行財政係 ☎有 58-3700

認知症に関する相談

問 福祉課 地域包括支援センター
(福祉ステーション1階)
☎有 58-3704 FAX 58-8019

ふれあい相談発達支援センター

子育てに関する悩み、発達に関する悩み、不登校や行きしぶりに関する悩みや教育相談
とき 月～金曜日 9:00～17:00
ふれあい相談発達支援センター
(竜王町公民館 3階) ☎有 58-3741

役場発

「新成人の祝典」を開催します

新たな門出を迎える新成人の皆さんを祝い、励ます記念日として「平成24年新成人の祝典」を開催します。

対象 平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれの人(町内在住者もしくは町内に在住していた人に限ります)
とき 1月8日(日) 13時開会(12時30分から受付)
場所 竜王町公民館
その他 対象となる人には案内状を送付しています。詳細は左記へお問い合わせください。

問 竜王町公民館
☎有 58-1005
FAX 58-1979

講座

大津地方裁判所 裁判員制度説明会を開催します

★「あたっちゃった。どうしよう？…とあわてる前に 2時間で分かる裁判員制度」

とき■2月7日(火) 13時20分～15時ごろ
場所■大津地方・家庭裁判所庁舎別館(大津市京町)
定員■50人(先着順に予約受付)
内容■実際に使われている法廷の見学、刑事裁判の傍聴、裁判員制度の説明、質問コーナー
※都合により、刑事裁判の傍聴に替えて、広報用映画の上映に変更する場合があります。
費用■無料
申し込み■左記へご連絡ください。
問 大津地方裁判所事務局 ☎077-503-8112

募集

あなたの事業所の福利厚生をサポートします

財団法人 近江八幡地域勤労者福祉サービスセンターでは、地域の中小企業の事業主と従業員が共に力を合わせ、個々の企業ではできない福利厚生事業を行っています。

当センターでは、中小企業で働く人が楽しく安心して働ける環境をつくるとともに、企業の発展を図ることを目的として会員を募集しています。

対象■竜王町・近江八幡市に事業所を有する中小企業の従業員および事業主
主な事業■生活安定事業、余暇活動事業、自己啓発事業、健康推進事業
入会金・会費■
●入会金…一人につき1000円(原則、事業主負担で入会時のみ)
●会費…一人につき月額600円(原則、事業主・従業員それぞれ2分の1を負担)
その他■申し込みは随時受け付けています。各種事業の内容など詳細は、左記へお問い合わせください。
問
●財団法人 近江八幡地域勤労者福祉サービスセンター事務局 ☎38-8400
●役場 産業振興課 商工観光係 ☎有58-3706

小学生～高校生のための春休み海外派遣へ参加してみませんか？

財団法人 国際青少年研修協会では、体験を通して、お互いの理解や交流を深め、国際性を養うことを目的に春休み海外派遣を行っています。事前研修会では、仲間づくりから丁寧に指導しますので安心してご参加ください。

対象■小学3年生～高校3年生
※事業により異なります。
期間■3月25日(日)～4月5日(木)までの間の10日～12日間
※事業により異なります。

保健の掲示板 1月1日～2月14日分

1月23日(月) 10カ月児健診
対象 平成23年3月生まれ

1月26日(木) 4カ月児健診・BCG
対象 平成23年9月生まれ
※BCG予診票もご持参ください。

1月31日(火) 2歳6カ月児健診
対象 平成21年6月・7月生まれ

2月2日(木) 1歳6カ月児健診
対象 平成22年6月・7月生まれ

2月14日(火) 3歳6カ月児健診
対象 平成20年7月・8月生まれ

場所 保健センター
受付 13:00～13:20
持ち物 母子健康手帳、質問票

1月20日(金) 赤ちゃんサロン・たまごサロン
場所 保健センター
受付 9:30～11:30、13:30～15:30
※たまごサロンは13:30～15:30(要予約)
持ち物 母子健康手帳

詳しくは保健センターへお問い合わせください

問 健康推進課 保健予防係(保健センター内) ☎有58-1006

山之上に次世代住宅展示場を開設！ ISO 9001 認証
特徴は…3階建、ホームエレベーター装備
発電パネルと建材が一体の、優れた太陽光発電…
一級建築士、スタッフがお待ちしております
総合建設業・一級建築士事務所
株式会社 ヤマタケ創建 Yamatake Sohken inc.
4優 住む人に優しい 環境に優しい 耐震に優れた COSTに優しい for you
〒520-2531
本社／山之上 57-1100 住宅部展示場57-1212
東近江(営) 55-3300 栗東(営) 077-553-9933
http://www.yamatake-sohken.com

サラ金・クレジット・過払い請求
借金のお悩み解決します
返しても返しても少しも減らない借金
誰にも相談できずに悩んでいませんか？
勇気を出してご相談下さい！
相談無料 分割払可能 秘密厳守
あい湖司法書士事務所
大津市京町3丁目3番1号 A&M・OTSUビル2F
TEL 077-527-0023
JR大津駅 徒歩3分
土・日・祝・夜間相談可(要予約)
通話無料 0120-001-694
司法書士/飛渡(ひど) あい子・飛渡 貴之

派遣先■米国・英国・豪州・カナダ・ニュージーランド・カンボジア・フィジー
内容■ホームステイ、ボランティア、文化交流、学校体験、英語研修、地域見学、野外活動など
参加費■29万8000円～43万8000円（別途、共通経費3万円）
申込締め切り■2月6日(月)
その他■事業についての事前説明会を1月下旬に開催します。詳細など資料請求は、左記へお問い合わせください。

問 財団法人 国際青少年研修協会
☎ 03-6459-4661
FAX 03-6459-4633
E info@kskk.or.jp
HP http://www.kskk.or.jp

育児

幼稚園からのご案内

★竜王幼稚園「入園説明会」

対象■次年度就園予定児（平成18年4月2日～平成21年4月1日生まれ）
とき■1月18日(水) 13時45分～（13時20分～40分までに玄関前廊下で受付）
場所■竜王幼稚園
●説明会……遊戯室
●ちびっこ幼稚園……保育室
内容■入園説明会の間、子どもたちは先生と一緒に遊んで過ごします。
持ち物■保護者とお子さんの上履き
その他■
●説明会終了後、上着・ズボン・作業着などの申し込みを受け付けます。
●駐車場は、園舎北側駐車場をご利用ください。

問 竜王幼稚園
☎有 57-0009

★竜王西幼稚園「入園説明会」

対象■次年度就園予定児（平成18年4月2日～平成21年4月1日）
とき■1月25日(水) 13時45分～（13時30分～45分までに遊戯室で受付）
場所■竜王西幼稚園
内容■次年度就園予定児の入園説明会を行います。
持ち物■保護者とお子さんの上履き
その他■駐車場は、西小学校駐車場をご利用ください。また、駐車場の門、園の門は必ず閉めてください。

問 竜王西幼稚園
☎有 58-2356

町民憲章

町民憲章は、竜王町の恵まれた自然環境を後世に守り、住みよく、働きよい、憩いのある平和郷「緑と文化の町 竜王町」を具現するための心構えとして制定されました。

わたくしたちのまち竜王町は　二つの山なみを背景とした沃野（よくや）にはぐくまれ史実に残る古い歴史と恵まれた文化遺産を受けついできました

わたくしたちは　このうるわしい郷土に誇りと自覚をもち　「緑と文化の町」にふさわしい　明るく住みよい町を築くため　この憲章を定め　これの実現につとめます

一、自然を愛し　みどり豊かな美しい町をつくりましょう
一、おはよう　こんにちはがこだまする　うるおいのある町をつくりましょう
一、心とからだを鍛え　明るい家庭が育つ町をつくりましょう
一、仕事にはげみ　豊かで活力のある町をつくりましょう
一、若い力を育て　夢と希望にあふれる町をつくりましょう

（昭和58年1月15日制定）

町の木「松」

町の花「あえんぼ」

平田歯科医院
HIRATA DENTAL CLINIC
一般歯科・歯科口腔外科
小児歯科・矯正歯科
〒520-2531 竜王町山之上3456
ご予約・お問い合わせは
TEL 0748-57-0600
http://www.hiratadental.com

広告を募集しています

住民皆さんの目に触れる機会の多い「広報りゅうおう」に広告を掲載してみませんか。お店などのPRにぜひご活用ください。掲載料■①年間通して（連続した1年分の号）の掲載は10万円、②①を下回る掲載は1回につき1万5000円　申し込み■竜王町有料広告掲載の取り扱いに関する要綱をご確認の上、掲載希望月の2カ月前までにお申し込みください。（要綱は町ホームページに掲載しています）

問 政策推進課 人権広報係 ☎有 58-3701

税と料金

納期限までに納めましょう

- 町県民税
- 国民健康保険税

納期限 1月31日(火)

- 保育所保育料
- 幼稚園保育料
- 学校給食費
- 通学自動車使用料
- 後期高齢者医療保険料
- 介護保険料
- 水道料金
- 下水道使用料

納期限 1月31日(火)

口座残高をご確認ください

町税などを口座振替で納付いただいている人は、納期限までに必ず口座残高の確認をお願いします。

人の動き

人口	13,007 人	(−18)
男	6,802 人	(−10)
女	6,205 人	(− 8)
世帯数	4,303 世帯	(−15)

平成23年11月末現在　かっこ内は前月比

転入	25 人	(44)
転出	40 人	(43)
出生	9 人	(12)
死亡	12 人	(10)

平成23年11月中の届け出　かっこ内は前月数

広報 りゅうおう

2012年1月1日発行　第456号（毎月1日発行）

編集・発行 竜王町役場 政策推進課

所 〒520-2592滋賀県蒲生郡竜王町大字小口3番地
有 0748-58-3701　FAX 0748-58-1388
HP http://www.town.ryuoh.shiga.jp
E info@town.ryuoh.shiga.jp

町へのご意見・ご提案については、政策推進課までどうぞ。

VEGETABLE OIL INK 広報りゅうおうは、環境に配慮した再生紙と大豆インキを使用しています

1歳のハッピーバースデー

まちの元気っ子たち　お誕生日おめでとう！

島村 梨愛（しまむら りあ）ちゃん
岡屋

田中 百愛（たなか とあ）ちゃん
田中

伊吹 優利（いぶき ゆうり）ちゃん
薬師

市岡 柊希（いちおか しゅうき）くん
さくら団地

岡田 悠河（おかだ ゆうが）くん
林

中清水 新菜（なかしみず にいな）ちゃん
さくら団地

徳谷 愛美（とくたに あいみ）ちゃん
希望が丘

募集　お誕生日の記念に…2月に1歳を迎えるお子さんの写真を紙面に飾りませんか

締め切り日 1月10日(火)

応募方法
❶お子さんの名前（ふりがな）／性別／誕生日
❷保護者名／郵便番号／住所（自治会名も）／電話番号を記入の上、役場へ持参・郵送・電子メールでご応募ください。

※Eメールによる応募の場合、必ず返信します。1月11日（水）までに返信がない場合はご連絡ください。

掲載方法
❶広報りゅうおうに写真・名前・自治会名を掲載させていただきます。なお、掲載項目のうちで掲載を希望されない項目がある場合は、お申し出ください。
❷広報りゅうおうは、竜王町のホームページにも掲載していますので、ご了承ください。